

「もういくつねるとおしょうがつー」と子供たちが歌う季節になりました。クリスマスとお正月に向けて仕事を片付けたいと思います。健康に気を付けて、楽しい季節を迎えましょう。

/// I N D E X //

- ・ ISO 関連情報-----ISO14021 (環境ラベル：自己宣言) の改訂の進捗
- ・ LCA の実務 mini23---単位プロセスごとに算定します。
- ・ LCAF からお知らせ…特別セミナー(2025年2月27日)と
今年度(3月まで)の研修と検定試験のご案内。
- ・ 編集後記……………話しことばと書きことば。

■ ■ ISO 関連情報：I-ISO14021 (環境ラベル：自己宣言) の改訂の進捗 ■ ■

12月2日～6日にオスロでISO14024：エコラベル、ISO14021：自己宣言、ISO14025：EPDの改訂作業がありました。まだCDのコメント処理の段階です。マスバランスモデルを環境ラベルで許容するかどうか大きな議論とっていましたが、エコラベルとEPDはプログラムを運営する組織があるので、その判断に任せることで落ち着きそうです。一方、自己宣言では「リサイクル率」の算定に、マスバランスを使った「アトリビューション」を許容したいという米国の強い主張がありました。それに対して、実態を反映しない計算値だけのマスバランスモデルの採用は消費者に誤解を与えるという意見もあり、大きな議論になりました。結局、「マスバランスモデルを使ったアトリビューションを行う場合には、特定の性質が物理的に存在しないことを書かなければならない」ということにしました。しかし、このドラフト案について、この後に各国の投票が行われるので、まだまだどうなるかわかりません。製品に使われる素材のリサイクル率を示さなければならないという規制が欧州で議論されていることが背景にあるようです。

バイオ製品については「アトリビューション」を認めない方向で議論が進んでいます。次回のドラフト案を確認する必要があります。

■ ■ LCA の実務 mini 23：単位プロセスごとに算定します。 ■ ■

LCA 報告書のクリティカルレビューの依頼が多くなってきました。クリティカルレビューで番困るのは、いきなり製品 1 kg または 1 個あたりのインベントリ分析結果を示す報告書が多いことです。

LCA の ISO14044：2006 及び CFP の ISO14067:2018 では、データ収集方法・期間などを詳細に書くことを求めています。それぞれの単位プロセスについて収集したデータを書き、物質収支などのデータの健全性を確認したうえで、単位プロセスごとに 1 kg あたりに換算し、それを対象製品の「基準フロー」に結びつけて製品 1 kg または 1 個あたりのインベントリ分析結果を計算することになっています。単位プロセスごとに収集したデータを示す必要があります。

もう一つ困るのは、単位プロセスごとのデータを「基準フロー」に連結させて、工場全体を一つのプロセスとしてまとめたデータしか示さない報告書があることです。それぞれの単位プロセスのデータを 1 kg あたりに整理することになるので、単位プロセスごとのデータを示すのは簡単はずだと思えます。

工場全体を一つのプロセスにしてしまうと、途中の単位プロセスで併産品がある場合の「配分」の処理や、用役プラントのそれぞれの単位プロセスへの配分方法などが見えなくなるので、算定が健全に行われているかどうか確認できません。

LCA 及び CFP の報告書では、実施したことをデータ収集からインベントリ分析まで正直に書くことを求めています。途中を省かないで書くことを心掛けてください。

■ ■ LCAF からのお知らせ ■ ■

○特別セミナーのご案内

2025年2月27日(木) 16:00-18:30 にベルリン工科大学の～を招いて、「マスバランスモデルと削減貢献量の活用：ISO での論点」の特別セミナーを開催します。詳細は後日 LCAF のホームページにて公開します。

○LCAF：LCA オンライン研修「初級：LCA の基礎」(12月)のご案内。

12月18日(水)と19日(木)に行います。申し込みは既に終了していますが、どうしても、、という方は事務局にご相談ください。

内容は https://lcaf.or.jp/education/training/lca_base/

○中級検定試験：1/25(土)に行います。もうすぐ申し込みを受け付けます。

https://lcaf.or.jp/education/test/arc_middle/

○初級検定試験：3/1(土)に行います。まだ受付がはじまりません。

https://lcaf.or.jp/education/test/arc_beginner/

○[再掲] 好評につき増刷します。参考図書「基礎から学ぶLCA～LCAの実施と活用～」以下からお申込みください。(3,000円+税+送料)です。

<https://lcaf.or.jp/education/textbook/>

この参考図書の図表をパワポに貼り付けた資料の販売を始めました。価格は要相談です。

■■ 編集後記：話しことばと書きことば ■■

最近、省庁や関連機関の委員会にお誘い頂くことが多くなりました。カーボンニュートラルに向かう活動のために、カーボンフットプリント(CFP)やLCAでの算定方法が必要になっているからだと思います。このような委員会では議事録が公開されることが多く、公開の前に「発言内容を確認してください」と言う依頼が来ます。この段階では発言したことが忠実に再現されているので、これを読むと「なんと非論理的に話しているか」と自分ながら呆れます。そこで、なるべく論理的になるように修正するのですが、話し言葉の雰囲気を残して修正することがとても難しいのです。すべてを書き言葉にしてしまうと、委員会の発言として雰囲気が損なわれるように思います。

速記者が議事録を作っていた時代から、テープ起こしをするようになり、今は自動で文面ができると思います。事実在即することが簡単になって来たのだと思いますが、さて、議事録も読み手を想定した文章ですから、事実だけでよいのか、と思います。

私は昔から、対談の文章を読むのが好きでした。今思えば、その人の個性を失わないように文章にする編集者の力がとても大事だと思います。

山の景色が好きなので登山のテレビを良く見ますが、登山している人よりも、それを映像にしている人の方がたいへんなのだと思います。このお正月は楽しい番組があるでしょうか？

(LCAF 理事長 稲葉 敦)

○LCAFの活動にご支援頂ける企業様に「賛同会員」としてのご参加をお願いしています。

<https://lcaf.or.jp/support-members/>

ご協力をお願い申し上げます。

○ご意見、ご感想、この「LCAF通信」の配信停止のご連絡はこちらまで

lcaf-contact@lcaf.or.jp

一般社団法人 日本LCA推進機構

Japan Life Cycle Assessment Facilitation Centre (LCAF)

(エルカフと呼んで(読んで)ください)

〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-36-7 アルテール池袋608

電子メール：lcaf-contact@lcaf.or.jp

URL：<https://lcaf.or.jp/>